

# 小羽山小コミスク通信



令和6年7月23日



## 今年も“地域とともにある学校”づくりを進めます！

本校の地域連携の取組では、学校地域協働活動推進員や学校運営協議会委員の皆様との協議を重ね、家庭や地域の皆様のご理解とご協力をいただきながら、学校教育活動の中で展開しています。

前年度から継続して取り組んでいるものや、今年度より新たに始める（再開した）ものなど、さまざまな活動に取り組み、家庭・地域の皆様と一緒に子どもたちと向き合っていきたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。

以下に、今年度新しく始めた取組をご紹介します。

## 登下校見守りボランティアの皆様との対面式（5月8日）

コロナ禍の期間中は中止していましたが、その間も通学路の要所要所で子どもたちの安全な登下校を見守ってくださっていた見守り隊の方々と、今回、ようやく直接お会いし、お話を聞くことができました。

直接対面してみると、暑い日も雨の日もいつも明るく「おはよう！」「気をつけてお帰り！」と声をかけてくださったり、怪我をした子どもには学校まで連絡して下さったりと、ボランティアの皆さんに支えられてきた思い出がまざまざと蘇ってきます。

日頃はあいさつしか交わせなかった子どもたちも心を込めてお礼の挨拶をすることができ、ボランティアの皆さんお一人おひとりから子どもたちへの温かいお言葉までいただきました。

これからも、安心・安全な登下校を見守っていただきますようお願いいたします。





# 新体力テストのお手伝い

(6月13日)

毎年、全国の小中学校等では子どもたちが各自の体力を把握し体力向上を図るために新体力テストに取り組んでいます。

今年度は、体力テスト当日（本番）の前に6年生の子どもたちが昼休みを利用して各学年の子どもたちに各種目の実技指導をする場を設けました。下学年の子どもたちにとっては各種目の練習の機会になっただけでなく、6年生にとっても下学年に実技指導やアドバイスをすることで自分自身も各種目のコツをつかむきっかけにもつながりました。



さらに、当日は保護者や地域からもボランティアの方にご来校いただき、各測定会場への誘導や測定補助などにもご協力をいただきました。初めての試みでしたが、教員が各種目の計測に携わっている中、各測定会場を効率的に廻ることができるよう引率していただいたり、記録の補助にも快く対応していただいたりしたことで、無事に終わることができました。

今回の測定で各々の体力が明らかになってきますが、測定結果を今回だけに終わらせず、自分の得意分野はさらに高め苦手分野は少しでも克服できるようこれからの授業や遊びの中などで取り入れていきたいと思えます。



まだまだあります！ありがとうございます！！



小中合同あいさつ運動



緊急時児童引き渡し訓練



学校運営協議会委員（熟議）



自転車交通教室



調理実習



ふれあいてづくり教室